

写真で振り返る

下関この1年

2017

今年は、前田新市長が誕生し、下関市政は新たなスタートを切りました。皆さんにとつての今年の重大ニュースは何ですか。下関市の1年を写真と共に振り返ります。



前田市長就任

3月12日に下関市長選挙が行われ、前田新市長が誕生。3月27日に初登庁した。



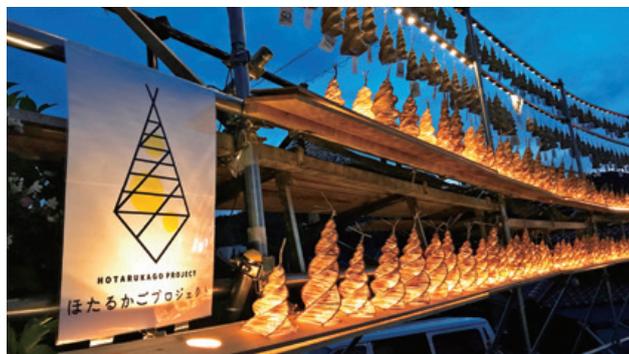
ナイターレース「海響ドリームナイター」スタート

4月1日、ボートレース下関で全国で6番目、中国地区で初のナイターレースがスタートした。愛称は昨年8月に一般公募で決定。



「関門“ノスタルジック”海峡」日本遺産認定

4月28日、北九州市と下関市が連携して取り組み、「関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」と題した、関門海峡をテーマとしたストーリーが、日本遺産に認定された。



豊田のホタル祭り50周年記念 蛍籠プロジェクト

5月27日・6月3日、豊田町のホタル祭りが50周年を迎えた。記念事業として、昔ホタルを入れて光を楽しんだという麦わらで編んだ「蛍籠」を復活させるため、プロジェクトチームを立ち上げ、蛍籠のイルミネーションで会場を飾った。



「発見! 恐竜卵化石」

～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～

6月5日、1965(昭和40)年に、市内の高校生により採集され、保管されていた化石が、今年になって、国内で最初に発見された恐竜化石で、国内では例のない種類の恐竜卵化石であることが分かった。



トワイライト エクスプレス TWILIGHT EXPRESS 瑞風、 新観光列車「○○のはなし」出発

6月17日から運行開始となった「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の下関駅発着を記念して6月18・19日に歓迎式典があった。

下関・長門・萩間を走る、山陰線の新観光列車「○○のはなし」が8月5日から走り始めた。今年1月29日まで運行していた「みずぎ潮彩号」をリニューアルしたもので、北浦の美しい海岸を楽しむよう、大きな窓と海側に向けた座席が配置されている。



「しものせき未来創造^{ジョブ}フェア」の開催

8月29・30日の両日にわたり、海峡メッセ下関において、市内40の企業および団体の出展により、中高生等を中心にさまざまな職業や産業の内容に触れ、その魅力を体感する「職業体験イベント」を開催した。



「地域連携・低炭素水素技術実証事業」 下関地域での取り組みスタート

9月15日、環境省委託事業「地域連携・低炭素水素技術実証事業」実施の一環として、下関水産会館跡地(大和町一丁目)に「簡易型水素供給施設」を整備し、燃料電池自動車、燃料電池等による実証事業を開始した。



長州出島ガントリークレーン^{しんこう}竣工式

10月2日、長州出島におけるコンテナの荷役能力を大幅に向上させることを目的としたガントリークレーンが完成した。

10月16日、現地で竣工式があり、関係者らが国際物流ターミナルの機能強化を祝い、下関港のさらなる発展を誓った。



朝鮮通信使ユネスコ「世界の記憶」に登録決定

10月31日、日本の「NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会」と韓国の「財団法人釜山文化財団」が平成28年3月に共同申請を行った「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録されることが決定した。

下関市には、市立歴史博物館蔵の「延享五年朝鮮通信使登城行列図」1巻(写真上)、「金明国筆 拾得図」1幅など5件10点の資料が所在する。

